

## 編集後記

早いもので、学会誌編集委員となって1年半になろうとしており、いろいろな経験をさせて頂きました。この1年半の間、解説や小特集などの企画において様々な先生方に返すアテのない借りを作り続け、任期（刑期？）が明けた後にどのようにこの多額の借金を返済したらよいのやら、閑話休題。

ITERの建設サイトがフランス・カダラッシュに決定し、停滞気味だったITER関連の活動もようやくまた動き始めると共に、「幅広いアプローチ」として既存装置JT-60Uの改修や国際核融合エネルギー研究センター設置計画などの検討が行われ、ITERを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。また、プラズマ・核融合学会に目を向ければ、英文電子ジャーナルを創刊することになり、学会誌のあり方も今後大きく変わろうとしています。共に大きな変革の時期……などと考えていたら、急に「紙」というキーワードがひらめきました。コンピュータとネットワーク技

術の進歩により、日々、紙の代わりに電子（メール）が飛び交う時代になり、扱うことのできる情報量も飛躍的に増えると共に、電子検索による情報の取捨選択もしやすくなりました。創刊される電子ジャーナルにおいても論文の検索などはこれまで以上にやりやすくなることでしょう。しかし一方で、情報を記録した媒体の耐久性は技術の進歩と共に逆に短くなっている気がしてなりません。紙に記録して保管すれば数十年～100年くらいはもつものが、電子媒体ではせいぜい20年以下でしょう。もっともこれはテープやディスクなどの電子媒体自体の耐久性だけでなく、媒体の陳腐化による再生装置の生産終了という要因もあってのものです。電子ジャーナルを利用しつつ、やっぱり大事な論文はダウンロードしたファイルだけでなく、紙に印刷して保管しますよね、みなさん。

そういえば、ITERでの文書管理も基本は紙だったな……。

（先日クラッシュしたHDDを横目で見つつ 鈴木 哲）

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦 藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一（総務委員長）
理 事	今井 剛 奥野 健二 佐藤浩之助 畠山 力三（企画委員長） 森 雅博		榎戸 武揚（広報委員長） 尾崎 章（財務委員長） 田中 和夫（プログラム委員長） 堀岡 一彦（広告委員長） 吉田 善章（編集委員長） 藤山 寛		岡野 邦彦（出版委員長） 際本 泰士 二宮 博正 松岡 啓介
監 事	長谷川 満				

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章（東大新領域）

エディター 関子秀樹（九大）、関 昌弘（原子力機構）、田中雅慶（核融合研）、西村博明（阪大）、福山 淳（京大）、藤山 寛（長崎大）

編集委員 荒巻光利（名大）、飯塚 哲（東北大）、岩尾 徹（武蔵工大）、岩切宏友（九大応力研）、岩前 敦（京大院工）、上田良夫（阪大院工）、江角直道（長野高専）、片沼伊佐夫（筑波大プラズマ）、門 信一郎（東大高温プラズマ）、菅野龍太郎（核融合研）、近藤公伯（阪大院工）、榊田 創（産総研）、重森啓介（阪大レーザー研）、篠原俊二郎（九大院総理工）、鈴木 哲（原子力機構）、妹尾和威（核融合研）、高杉恵一（日大量科研）、高橋栄一（産総研）、永岡賢一（核融合研）、服部邦彦（東北大院工）、林 康明（京都工繊大）、檜垣浩之（筑波大プラズマ）、増崎 貴（核融合研）、南 貴司（核融合研）、山内有二（北大院工）、山本 靖（京大エネ理工研）、山本 巧（原子力機構）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第81巻第12号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印 刷 株式会社荒川印刷

2005年（平成17年）12月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は（社）プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。